

“国立総合児童センター「こどもの城」事業終了予定について”

公益財団法人児童育成協会（東京都渋谷区神宮前 5-53-1）は、運営する国立総合児童センター「こどもの城」を、平成 27 年（2015 年）3 月末に閉館します。遊び場、劇場、クリニック、サービス部門等各事業ごとに以下の予定で終了します。本年度末には小児保健クリニック、ホテルを終了し、来年度末までに青山円形劇場、青山劇場、「こども活動エリア（プレイホール・造形スタジオ・音楽ロビー・ビデオライブラリー・体育室・プールなどの遊び場）、子どもから成人を対象にした講座・クラブ活動、研修室等の事業を順次終了いたします。

こどもの城は、昭和 60 年厚生省（当時）が国際児童年を記念して、児童福祉法に基づく児童厚生施設として設置しました。子どもたちの健やかな成長のため、遊びを基底にしたプログラムを開発実践、全国の児童館における児童健全育成事業の普及支援、研修を通じた人材育成などを目的に、遊び場・保育室・クリニック・劇場・宿泊施設を備えた総合施設である日本で唯一の国立総合児童センターとして開設されました。しかしながら、平成 24 年 9 月 28 日、厚生労働省より、27 年 3 月末までに閉館するとの発表がありました。運営を委託されている公益財団法人児童育成協会は、断腸の思いでこの決定を受け入れることといたしました。

最終年度にあたる 26 年度は、「遊びで輝く子どもの力」をスローガンに掲げ、事業に取り組んで参ります。最近は、「子どもの遊び」についての理解も広まりつつあり、遊びの環境や場所を保障することの重要性も叫ばれています。子ども時代に思いっきり遊んだ経験が、将来の集中力、意欲につながるといわれています。こどもの城は、「子どもの遊び」の重要性を多くの皆様にご理解をいただきながら、開館以来の 28 年間に 2,700 万人を超える来館者をお迎えしています。この中には、200 万人を超える講座修了者、6 万人を超えるクリニック受診者、2 万人の専門家（児童厚生、保育、小児保健等）講習修了者を含みます。また、全国の児童館等へ出向いて、児童厚生員等スキルアップ研修を行った件数は、4 千件・54 万人を超えます。これらの活動実績は、「子どもの遊び」の重要性の構築につながったと考えております。

おりしも、27 年 4 月からは「子ども・子育て支援新制度 すくすくジャパン」がスタートします。新制度の目標は、待機児童の解消、子育て世帯への経済的支援、出生率の上昇など目前の指標に主眼がおかれていますが、子どもの育ち、子育て支援、少子化対策への長期的なビジョンも含まれており、子どもの遊びの機会や場が一層拡充されるようにと願っています。また、閉館決定に際し非常に多くの方から温かいメッセージをいただきました。存続を願う声とともに、こどもの城や児童館の存在意義を訴える声をたくさん頂きました。こうした声援をしっかりと受け止め、残された期間のこどもの城運営に全力を注いでまいります。

国立総合児童センター「こどもの城」各事業終了時期一覧

- こどもの城小児保健クリニック 平成 26 年 3 月 31 日
- こどもの城ホテル 平成 26 年 3 月 31 日
- 青山円形劇場 平成 27 年 1 月 11 日
- 青山劇場 平成 27 年 1 月 23 日 ※予定
- こどもの城活動エリア（一般利用）平成 27 年 2 月 1 日
- こどもの城研修室 平成 27 年 2 月 28 日
- こどもの城活動エリアを活用した講座・クラブ活動 平成 27 年 3 月 14 日

「巷間歴史の希望たる子等を支援続けん 人間到る処青山あり」 公益財団法人児童育成協会 理事長

「子どもは歴史の希望である」この一文は、昭和 21 年に制定された児童福祉法の草案に記されたものです。児童福祉法に記されることはありませんでしたが、子どもに関わる専門職が、自らの仕事のあり方を振り返る時の基盤となる言葉です。こどもの城は閉館いたしますが、これからもこの言葉のもと、様々な場所、機会において、子ども達のために、子ども達が創る未来のために、支援を続けてまいります。

【プレスリリースについての問合せ】

こどもの城事業本部 山本桃子 tel 03-3797-5674 m-yamamoto@kodomon-shiro.jp
こどもの城 東京都渋谷区神宮前 5-53-1 03-3797-5666（代表）
<http://www.kodomon-shiro.jp>